

# 書香

1995. 3. 30

No. 25

## 巻頭言

### 附属図書館と『告白』と私

人文学部助教授 松崎一平

大学4年の時に授業で出会い、もう20年あまりアウグスティヌスの『告白』をおもな研究対象とし続けている。『告白』は紀元400年頃に西ローマ帝国で成立したもので、日本の書物の歴史でいえば、『源氏物語』クラスの、古典中の古典。しかし『源氏物語』が既にそうであるように、活字時代に成立した書物を読むような具合にはいかない。西洋の古典語や古典文学、キリスト教に疎い日本人にとってはことにも理解することの困難な書物である。ラテン語で書かれたその文章についても、多くの箇所に様々な解釈の可能性がある、また解釈の困難な部分があり、様々な解釈の可能性を比較検討しながら、あるいは他の人々の解釈を参考にしながら、最良の解釈を求めるといような読み方が必要になる。つまり注釈書や近代語訳をいつも参照することが不可欠なのだ。

かくて私の手元に、この20年間に集まった『告白』に関する基本文献（5つの批判的校訂本を含むラテン語テキスト11種と研究書、雑誌は除く）は、注釈書ならびに注釈的研究書（C）11、日本語訳（J）7、英訳（E）9、仏訳（F）3、独訳（G）3、伊訳（I）2、西訳（S）1、計36種類。これは決して網羅的ではなく、むしろ私としては気が付いたら集まっていたと

いう感じのもの。容易に手に入るのに購入していないものがまだ幾つかありもする。

私が富山大学に赴任したのは、1986年の秋。上の36種類のうち、その時点で附属図書館に所蔵されていたのは、私の気付いたかぎりでは、Cが3、Jが5、Eが2、Fが1の、11種類。このうち、既に私の所有していたものが9種類。具体的にはEの2種類が、私の所有していなかったもの。ところがその2種類は一方（1948年刊）が他方（1876年刊本のリプリント版）の再録版だ。こと『告白』の研究に関しては我が富山大学附属図書館は、私にはほとんど無地のキャンパスで、研究費で書物をうまく購入することによってできるだけ豊かな模様を描いていくべき場所であって来たということ。

附属図書館に苦情をいっているわけではない。『告白』の研究者としての私にとって附属図書館がどういう位置を占めているかを事実即して具体的に説明したかったのだ。

ところで本を読むのが私の唯一の趣味。かつて軍記物語や御伽草子、説教節などに熱中したことがある。しょっちゅう書庫を歩き回り、その都度随分多くの本を見付けては借り出して読み耽ったものだ。そんな時、附属図書館はまさに宝庫。これもまた紛れもない事実である。

## 附属図書館の早期増築など要請

### 〈附属図書館自己点検評価委員会が附属図書館商議会に報告〉

附属図書館自己点検評価委員会は、平成5年5月出された「図書館白書」の「問題点・指摘事項」「改善すべき事項」や平成6年2月に行った「図書館サービスに関するアンケート」の集計結果などについて、平成6年6月より4つの専門委員会（管理運営専門委員会、利用サービス専門委員会、資料整備等専門委員会、情報システム専門委員会）で検討が行われた。その結果、平成6年9月、附属図書館自己点検評価委員会において、5項目の「早急に改善すべき事項」をまとめ、図書館商議会に報告された。

その要旨は、

#### 1. 早急な附属図書館の増築が必要である。

附属図書館が現在の地に建築後21年が経過し、利用者数、蔵書数が倍増しているにもかかわらず増築がなされないため、書庫は収容能力を超え書棚に横積み、またはダンボール詰めにして別置している。新規に受入れした図書は、研究室へ貸出を要請せざるを得ない状況にあり、図書館資料の別置・分散で利用者に多大の不便をかけている。

また、図書の出納を困難にし、ILL（図書館間相互貸借）では、研究室への借用・返却など、職員にも負担となっている。

最近の学術情報が「図書」から「雑誌」、ニューメディア資料へと多様化し、CD-ROMや外部データベースの検索スペースを必要としている。また、それらを扱う要員も必要である。

学生用開架図書の配架スペースや閲覧座席（学生数の10%～20%の座席が必要。現在603席で9.4%）の確保、グループ閲覧室などを必要としている。

2. 学術情報センターを中心とした図書館サービスの拡大により、次の業務において新たな要員の確保、業務改善が必要である。

イ. ILLシステム（図書館間相互貸借）の稼働により、学内外からの文献複写の申込み、現物相互貸借が増大し、文献所在調査、研究室への資料の一時借用・返却、文献複写などの要員の確保、業務の改善が必要である。

ロ. 全国共同利用のため、図書の廻及入力促進など要員の確保が必要である。

#### 3. 時間外開館等新たなサービスの拡大

アンケートでは、学生より土曜日の開館時間延長、休業中の開館、日曜日の開館、平日の開館時間延長などの要望がある。それらの要望実現のためには、予算の確保、要員の確保、管理面の検討などが必要である。

#### 4. OPACの改善

図書館専用機K-290Rでは、OPACが研究室からの検索ができないほか、端末操作、レスポンスでも問題が指摘されていた。平成6年2月よりUNIX版図書館システムの導入によって、OPACを24時間、キャンパス情報ネットワーク及びインターネットに開放している。研究室及び学外からも検索可能となった。

#### 5. 図書購入費の増額

研究予算の伸びが低く、学生用図書購入費の減額等で図書の受入れ数、雑誌の受入れ数が年々減少している。大型コレクション等の特別資料購入予算の獲得が必要である。

# 新入生のみなさんへ

## 《図書館の利用案内》

### 附属図書館は

「本館」と「工学専門図書室」があります。

### 場 所

本館は正門からメインストリートつき当たり、メインストリートに向かって建っている二階建ての建物です。

工学専門図書室は工学部キャンパス入り口の管理棟にあります。

### 利用するには

自由に入って下さい。新聞の閲覧、開架図書の館内閲覧、2階の自由閲覧室の読書、ロビーでの談話に利用して下さい。

### 本を借りるには

館外貸出には「附属図書館利用証」が必要です。

学生証を持参の上、閲覧カウンターで「利用証申請書」に必要事項を記入しますと、翌日または2日ほどで出来上がります。

### 本以外に借りられるもの

ビデオ映像資料は館内のビデオ視聴コーナーで見ることができます。ビデオテープは開架閲覧室にあります。借りたいビデオをカウンターへ学生証と共に持参すれば、テープとイヤホンを渡してくれます。自由閲覧室のビデオ視聴コーナーで鑑賞して下さい。

### 分からないことは

遠慮せずに閲覧カウンターで尋ねてください。

## 《説明会・見学のお知らせ》

☆OPAC(目録データベース検索)の検索の仕方

☆CD-ROMの利用の仕方

4月下旬の昼休み時間(午後12時30分～1時30分)に行います。

開催日が決まりましたら館内に掲示します。

## 《ヘルン文庫の公開》

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が所持していた蔵書の文庫を公開します。「神国JAPAN」の手書きの原稿、手紙類、ろくろく首、雪女等のハーンのイラスト、耳なし芳一の底本など・・・係員が解説します。

5月中旬に行います。公開日が決まりましたら館内に掲示します。



## 電子掲示板サービスについて

本学図書館のインターネットによる利用者サービスの事始めとなったOPACの公開に続くサービスとして、附属図書館の電子掲示板サービスを準備しております。運用形態は、本学情報処理センターの企画によるキャンパス広域情報システムの一部に組み込まれたかたちになるでしょう。

サービス内容としては、

- (1) 利用案内やお知らせ
- (2) 特殊コレクションや書誌などの資料案内
- (3) 利用マニュアル類の提供
- (4) World-Wide Web (以下 WWW と略す) による情報検索案内
- (5) 図書館宛電子メール

以上のメニューでスタートする予定です。

図書館が用意するサービスメニューに入るには、tya-net を利用してまず本学のホームページを開き、そこから附属図書館のページにジャンプすることになります。

学内 LAN (インターネット) 接続を済ませた

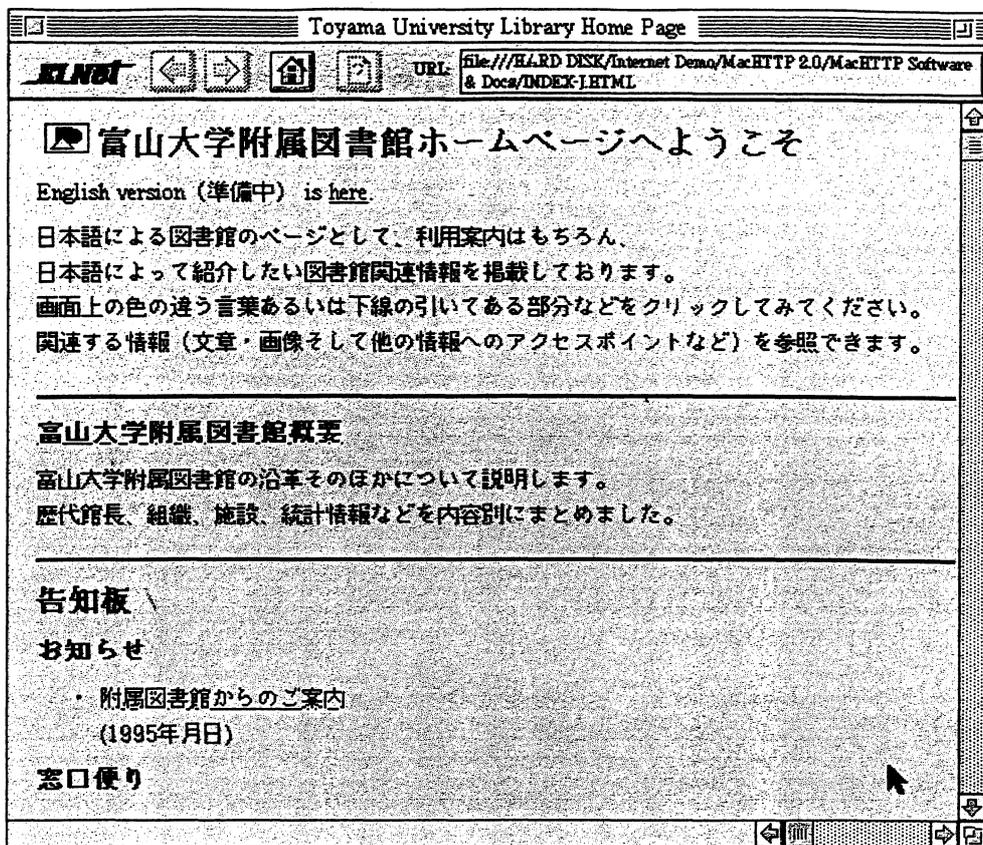
パソコンなどで本学の URL を指定した WWW サーバ・アクセス用ソフト (日本語処理可能なもの) を動かせば、何時でもどこからでもご利用いただけます。

これまで電話のみで対応していた「よくある質問」(FAQ) にも図書館各系の協力に対応できる内容に育てていきたいと考えております。「OPAC の使い方」などマニュアル類も、図書館窓口でのみ希望者にコピーをお渡ししていましたが、これからは図書館の電子掲示板を使えばいつでも入手可能になります。

本学キャンパスの学術情報ネットワーク基盤の整備にともない、図書館にも質問を寄せられ、インターネット上の情報収集を試みていらっしゃる利用者向けに、便利な WWW ブラウジングのためのスタート・ポイントを提供する仕掛けなども準備しております。

(学術情報係 内線2636 電子メール

lsiu@athenal.ccis.toyama-u.ac.jp)



ホームページのテスト画面(安) - 3

# 「インターネット」の利用について

昨年の春、4月下旬でしたか「素粒子の一つ、トップクォーク」を確認のニュースが国内の新聞を飾った事がありました。「世紀の発見」を報ずる朝刊各紙の記事の発信地が世界各地にまたがっている不思議さも、ふと「インターネットによる情報交流」という近年の社会的背景の一つに思いあたって納得させられたようでした。

新しいところでは、今年1月のあの「阪神大震災」の第1報が17日朝の7時台にインターネット上を流れたという報道がありました。2月に入ったある日、“The Daily News around the World”のホームページを開いて「最近の出来事」の冒頭の“The earthquake near Kobe, Japan”をクリックしてみました。被災者名簿、各種のレポートやニュース、そして画像など今回の大災害に関わる様々な情報源が“Kansai Area Earthquake information”と題されたページにリンクされていて、集約的なパソコン通信情報とは異なった、双方向的で柔軟な情報集積性とでもいべきインターネットの一面を示しているように見えました。また準備中の電子掲示板の図書館のページにリンクを張るURL候補探しをしていて、たまたま“Yahoo-A Guide to WWW” (<http://akebono.stanford.edu/yahoo>) を覗き、そのエントリー数の多さにはいささかびっくりしました。Art (606), Business (8393), Computers (3233), Economy (886), Education (1814) という具合

に全部で19に仕分けられ登録されているデータベース総数は31412を数えていました。ほんの一例にすぎず、またそれぞれの内容の検証はとても手に負えませんが、とにかくこのようなものを作る人がいて、また使う人もいるんだなというのがそのときの正直な感想です。これからはインターネットを使ってみた経験の交換や習得された情報検索方法の公開も必要となってくるでしょう。

遠隔ログインプロトコル (telnet), ファイル転送プロトコル (FTP), 電子メールそしてネットニュースなどネットワークがらみの道具を図書館業務に取り入れ、OPAC 公開に続く利用者サービスとしてどういった内容を具体化していくかというところにさしかかっています。

NACSIS-CAT を探しても、確認できない洋書にぶつかったら telnet を使い海外の OPA を調べたり、雑誌コンテンツを求める利用者には UnCover を勧めてみたりしている。World-Wide Web による情報探索については、事務室内のパソコンで何とか対応できるよう環境を整えている。こういったレベルでうろうろしつつ、加工された高次情報検索の受け口の広がりや相変わらずの現物取得手段の停滞のはざまにジレンマに陥りながらも、サービスを心がけております。何なりと、お気軽に相談ください。

(学術情報係 内線2636 電子メール  
lsiu@athenal.ccis.toyama-u.ac.jp)

## 川合文書・菊池文書データベース化へ

人文学部教授 富田正弘

川合文書と菊池文書は、ヘルン文庫と並ぶ本学図書館所蔵品の目玉である。ともに砺波地区の十村を勤めた家に伝存したもので、加賀藩農政史の貴重な史料として全国的に有名である。

この度、私は館からその整理をするようにとの申付けを受けた。近世史の専門でなく必ずしも適任とは言えないが、以前に多少は文書整理の経験もあるので、その面から何程かの貢献もできようかと考え、ともかく引受けることとした。

両文書は以前にも一度整理が試みられたが、その最終的目標は目録の刊行にあった。計画では仮目録を作成した後に分類し本目録を完成させる段取りであったが、実際に作業を終えたのは仮目録段階の80%程までであった。したがって、仮目録作成の20%、同点検、分類、本目録の作成・刊行の作業がなお残されたことになる。今回の整理は、前回のそれを無駄にしないように、これを継承するのは当然であるが、最終的な整理目録は、今日の文書整理水準に鑑み、いくつか変更が必要となる。

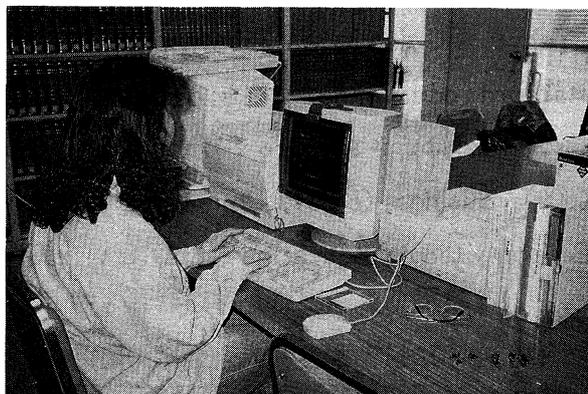
その変更とは、大きく2つに纏めることができる。1つは文書原本の保存管理の徹底であり、もう1つは文書利用の徹底的な利便化である。

前者は、文書の破損劣化の防止とその所在の明確な把握と言ってもよい。川合・菊池両文書とも400～100年もの間保存されてきたものであるが、今後も気を付けてさえすれば優に1,000年以上保存可能なものである。そのため、現物の養生・収納棚・収納庫は、恒温恒湿・防塵・防虫・防酸化・防水・防火等の多面的な注意が必要である。また、文書の多くは群として伝存する。群中から1点の文書を抜出して利用する場合、利用後所定の場所に確実に戻すことは、次の利用の欠かせない条件

となる。文書が収納箱・収納棚のどこに所在するかという明確な情報把握が重要なのである。なお、そのためにも文書番号は分類番号よりも一連番号が望ましいのである。

後者は、具体的にいえば文書情報の電算化及び写真撮影ということになる。目録とは1群の文書全体を一覧するためのものであるが、これが数十頁以上に及ぶとなると一覧というわけにはいかない。多量の文書の目録及び文書の内容についての迅速な検索は、コンピュータの力に頼るしかない。また、文書原本の閲覧は保存の観点から慎重を期す必要があろうから、効率は無視されなければならない。閲覧効率を上げるためには、写真撮影を行い、文書写真帳を配備するか、写真複写サービスに応ずるかするしかない。さらに、写真画像をコンピュータに入力すればさらに便利となる。

今回の整理は、収納箱の整備、目録の刊行、目録のコンピュータ入力までを一応の目途としている。収納棚・収納庫は館の増築計画の一環として、また、文書撮影・写真帳作成・文書画像電算化等は今後経費との相談の上で、考えていく課題であろう。



パソコンによるデータ入力作業

## 《CD-ROM 情報検索サービスの紹介 (VI)》

## 法律判例文献情報

法律判例文献情報 CD-ROM では、1982年以降の法律関係の文献や判例の要旨を調べることができます。メニューは「文献検索」「判例検索」「発行所案内」の3つが用意されています。

「文献検索」では、年間2万数千点の新刊単行本および法律専門雑誌、研究紀要、新聞等約1130誌紙から収録された約14万件の文献を検索できます。「判例検索」では、公刊されている判例情報誌・雑誌すべて(26誌)から収録した判例約1万8千件の要旨を見ることができます。また、文献検索の最中に、検索した文献に関連する判例を呼び出したり、逆に判例検索の最中に関連の文献を呼び出したりといった文献・判例の相互検索が可能です。「発行所案内」では、発行所名、住所、電話番号が収録されています。

文献、判例とも1982年(昭和57年)以降のデータが収録されており、年1回データが追加されます。現在は、1993年末までのデータが検索できます。それ以降のものについては、冊子体の「法律判例文献情報」(月刊)が開架閲覧室に備えてあるので、そちらで調べることができます。1994年末までのデータは、平成8年3月頃に提供される予定です。

なお、平成6年末に検索システム機能アップして、画面表示が見やすくなり、また、今までできなかった一覧表形式での印刷が可能になっています。

| 法律判例・文献情報 CD-ROM 1982～1992             |                |        | <文献編>検索画面 |             |
|--|----------------|--------|-----------|-------------|
| 1. 種別                                  | 【論文/図書】        | 2. 外国法 | 【Yes/No】  | 3. 形式区分 [ ] |
| 4. 発行年                                 | [ 年～ 年 ] (西暦)  |        |           |             |
| 5. キーワード                               | [ ]            |        |           |             |
| 6. 分類                                  | [ ]            |        |           |             |
| 7. 著者名                                 | [ ]            |        |           |             |
| 8. 事項索引                                | [ ]            |        |           |             |
| 9. 掲載雑誌名                               | [ ]            |        |           |             |
| 10. 発行所                                | [ ]            |        |           |             |
| 11. 発行年月日                              | [ 年 月 日 ] (西暦) |        |           |             |
| 12. 裁判年月日                              | [ 年 月 日 ] (和暦) |        |           |             |
| 13. 裁判所                                | [ ]            |        |           |             |
| 14. 事件番号                               | [ 年 ( ) の ]    |        |           |             |
| 検索条件を入力して下さい。(項目間移動↑↓)                 |                |        |           |             |
| ESC→前画面 HOME→メニュー *→AND ↔OR →NOT ⇨前方一致 |                |        |           |             |
| 検索                                     | 戻る             | 実行     | クリア       | 終了          |

## 《法律判例文献情報 文献検索画面》

1～14の検索項目を組み合わせて検索できる。

## DIALOG OnDisc ERIC

ERICは、米国教育省のEducational Resources Information Centerが収集した教育資料のデータベースで、2つの抄録誌の内容を含んでいます。ひとつは、約750種類の雑誌の論文を扱う「Current Index to Journals in Education」(CIJE)です。もうひとつは、研究報告・会議資料・学位論文・指導要領・カリキュラム資料など雑誌論文以外の文献を扱う「Resources in Education」(RIE)で、一般的に情報の入手しにくい、いわゆる灰色文献を多く含んでいます。こういった原報入手が難しい文献もERICを通して入手可能ですので、ERICで検索した文献の複写依頼をする時は、DIALOG呼び出し番号を記入するか検索結果のプリントアウトを添付してもらえると手配が迅速に行えます。

収録範囲は1966年～現在までで、年4回データが追加されます。全てのレコードに抄録(文献の内容の要約)が付いています。

以下に、検索の流れを簡単に紹介します。

- ①まず検索モードを選びます。オンライン検索に慣れた人以外は「Easy Menu Search」を選んでください。
- ②続いて検索範囲を選びます。「1966～1982」か「1983～現在」のどちらかを選んで下さい。
- ③「Begin a New Search」を選びます。
- ④検索項目を選択します。キーワード、件名、著者名、タイトル中の単語、雑誌名、発行年などがあります。
- ⑤検索語句を入力します。入力した語句の周辺の語句がアルファベット順で表示されます。その中から希望の語句を選びます。複数選ぶと、それらの間の論理和検索となります。同義語や単数形/複数形などは全て選ぶと良いでしょう。
- ⑥ヒット件数が表示されます。ここで、新しい条件で絞ったり(論理積検索)、他の語句を加えて検索結果を広げたり(論理和検索)、特定の条件の文献だけ除いたり(論理差検索)といったことができます。
- ⑦検索結果を表示します。完全表示、タイトル一覧、書誌事項のみ(抄録なし)等の形式を選択できます。
- ⑧検索結果は、各種形式で印刷・ダウンロードができます。1件印刷、全件印刷、マークを付けておいたものだけの印刷などが可能です。

## 《オンライン情報検索サービスの紹介 (VI)》

## UnCover

UnCover (アンカバー) は, CARL (Colorado Alliance of Research Libraries : 米国コロラド州の大規模図書館が参加する協会) が提供する学術雑誌の目次速報データベースと原報提供サービスを合わせたシステムで, 今話題のインターネットを介して無料で利用することができます。(原報提供は有料。) コロラド州の図書館を中心とした15の参加図書館で購入している雑誌約1万7千タイトルから文献情報を収録しており, 多方面の分野をカバーしています。レコード数は500万件以上で, 毎日4千件以上のレコードが追加されます。収録範囲は主に1989年以降なので最近の文献しか検索できませんが, データ量の面では非常に充実していると言えます。

各レコードは, 論文名, 著者名, 掲載雑誌名, 巻号, 開始ページ, 刊行年月日, 原報提供料金等の情報から構成されています。目次のページに論文の要約の載っている雑誌については, その要約も入力されています。

検索の流れは2つあります。ひとつは, 著者名やキーワードから文献情報を検索する方法です。このうち, キーワードとは論文名・要約・掲載雑誌名に含まれる単語による検索です。もうひとつは, 雑誌名から検索して特定の巻号の目次を表示する方法です。目次の中から見たい論文を選べば, その詳細を表示することができます。

検索方式は論理積検索 (AND 検索) のみで, 論理和検索 (OR 検索) や前方一致検索などの機能はありません。また, 索引語が付与されていないので, 特定のテーマの文献を探す時は, ほとんどの場合タイトル中の単語だけが頼りです。複

雑で精度の高い検索をしたいなら, やはりそれなりの料金をとるサービス (DIALOG, JOIS, STN など) の方が勝っています。

附属図書館では, 平成7年4月より試行としてこの代行検索サービスを開始します。利用希望の方は, 情報検索申込書に必要事項を記入して提出してください。文献検索だけなら無料で利用できます。検索した文献をその場で原報提供申込みする機能もあり, FAXで24時間以内 (ものによっては1時間以内) に送付されますが, 支払処理の問題があり現在図書館で利用する予定はありません。利用頻度によっては, 考慮していきたいと考えています。個人で申し込む場合は, クレジットカードで支払いすることができます。

UnCover は利用に際してユーザー登録等の手続きが必要ありませんので, 図書館からでなくても, 学内 LAN につながっているパソコンやワークステーションからなら自由にアクセスができます。持続は,

telnet database.carl.org

です。

接続や操作の詳細は, 図書館電子掲示板に掲載する予定ですので, ご覧ください。無料ですから時間を気にせず試行錯誤しながら利用できます。ただし, 回線が混んでいる時間帯だと, 通信速度がかなり遅くなることがあります。

インターネットには, UnCover の他にも自由に利用できるデータベースが沢山あります。今後, そのようなデータベースの紹介や代行検索サービスを進めていく予定です。詳細は, 書香や電子掲示板等を通してお知らせします。

## -----UnCover-----

|                            |  |                             |
|----------------------------|--|-----------------------------|
| AUTHOR(S):                 | Raitt, David   | ⇐ 著者名                       |
| TITLE(S):                  | The future of libraries in the face of the Internet. | ⇐ 論文名                       |
| In:                        | The Electronic library : the international journal.  | ⇐ 掲載雑誌名                     |
|                            | OCT 01 1994 v 12 n 5                                 | ⇐ 刊行年月日、巻号                  |
| Page:                      | 275  | ⇐ 開始ページ                     |
| Service Charge:            | \$ 8.50  | * 1 Hour Fax * ⇐ 原報提供サービス料金 |
| Fax Surcharge:             | \$ .00   | ⇐ FAX料金 (日本へは9ドルかかる)        |
| Copyright Fee:             | \$ 3.25  | ⇐ 著作権料 (雑誌により異なる)           |
| Total Delivery Cost: 11.75 |  | ⇐ 原報提供料金合計 (日本ではプラス9ドル)     |

---20 of 102-----

## 《詳細データ表示例 (一部省略)》

参考文献 : 小田島亙 “UnCover” 「情報の科学と技術」44(7) PP. 362-367 (1994)

戸田慎一, 影浦峽, 海野敏 「インターネットで情報探索」 日外アソシエーツ (1994)

# 全国国立大学大型コレクション案内

(平成6年4月～平成7年3月)

下記の大学より大型コレクションについて、利用の案内がありましたのでお知らせいたします。これらのコレクションの案内や、資料の利用について参考係へお尋ね下さい。内容については、所蔵大学図書館の案内によるものです。

| 大 学 名    | 資 料 名  |
|----------|--|
| 群馬大学     | 官報 明治編 第1号(明治16年7月)～第8734(明治45年7月)附 第1号(大正元年7月)復刻版 全467冊   |
| 茨城大学     | 近代美術関係新聞記事資料集成(明治24年から昭和16年まで 30万項目)＜マイクロ版＞ Vol.1～Vol.71 全71リール  |
| 徳島大学     | 静嘉堂文庫所蔵 古辞書集成 ＜マイクロフィルム版＞ 178リール   |
| 岩手大学     | 古宮博物館の名蹟 法書  |
| 一橋大学     | 国内主要新聞集成(明治～戦中・戦後編)＜マイクロフィルム版＞ 朝日新聞(大阪)明治12年～明治29年, 昭和18年～昭和38年, 朝日新聞(東京) 明治32年～明治45年 全344リール<br>毎日新聞(旧称 東京日日新聞) 明治32年～明治45年 84リール<br>信濃毎日新聞 大正13年～昭和38年 370リール  |
| 九州芸術工科大学 | A Collection on Color Theory (色彩理論コレクション) 19世紀から20世紀前半に出版された色彩理論に関するオリジナル図書 55冊  |
| 鳴門教育大学   | 総合イギリス・アメリカ名著復刻叢書 (Anglistica/Americana: a selection of works from the fields of literature, philosophy and religion, the social sciences, the pure sciences, language, the arts, and technology)  |
| 東京芸術大学   | Doctoral Dissertations in Musicology (音楽学学位論文集) 600タイトル  |
| 東京工業大学   | 米国航空宇宙局技術レポート 1991年～1992年 ＜マイクロフィッシュ版＞   |
| 電気通信大学   | Sadtler Standard Spectra Series (Sadtler Research Laboratories)<br>① Standard Raman Spectra. v. 1-11, 1973-1976 ② Standard Fluorescence Spectra. v. 1-8, 1974-1976 ③ Ultraviolet (Non-Polar) Spectra. v. 1-2, 1974-1975 ④ High Resolution Infrared Evaluated Quantitative Spectra. v. 1-2, 1975 ⑤ D.T.A. Reference Thermograms. v. 1-7, 1965 ⑥ D.T.A. Reference Thermograms: Polymers & Related Products. v. 1, 1965 |
| 東京農工大学   | Materials Science Monographs. 1982-1993 全94冊   |
| 山形大学     | Farly British Periodicals (初期英国定期刊行物コレクション) 162点 (568 REELS)   |
| 新潟大学     | 環日本海＜政治・経済編＞米国学位論文集 (American Disseertations of Japan Sea Rimarea) 全1,020冊   |
| 岐阜大学     | Collection of Research Studies on Environmental Problems (環境問題研究コレクション) 319点   |
| 宮崎大学     | アレン・ハット旧蔵 世界労働運動史コレクション (Allen Hutt's Working Library of Books, Periodicals, and Manuscripts and British Labour Movement, Anglo-Soviet Relations, and Theory of Marxism-Leninism)  |
| 東京学芸大学   | ルドルフ・シュタイナー (Rudolf Steiner) 文献コレクション  |
| 浜松医科大学   | Methods in Enzymology (Academic Press) (酵素学研究法) v. 146～220   |
| 滋賀医科大学   | Annals of the New York Academy of Sciences 52冊   |

# 1995年外国雑誌案内

## ＜新規購入外国雑誌＞

平成7年度に新規購入予定の外国雑誌は、以下のとおりです。

### 人文学部

Human studies  
Past and present  
Text  
Victorian studies

### 理学部

Australian journal of earth sciences  
Journal of paleontology

### 教育学部

Cognition and instruction  
Educational researcher  
English literary Renaissance

### 経済学部

Accounting, Auditing and accountability  
Accounting management and information technologies  
American journal of comparative law  
Arbitration and dispute resolution law journal  
Arbitration international  
British accounting review  
Business ethics quarterly  
Canadian journal of philosophy  
Contemporary accounting research  
Critical perspectives on accounting  
Dissent  
Economic modeling  
Flower trades journal  
Harvard environmental law review  
International business review  
International journal of law and the family  
Journal of corporation law  
Journal of legal aspects of sport  
Long range planning  
Medizinrecht  
Ohio state journal on dispute resolution  
Point de vente  
Revue de science criminelle et droit penal compare  
Securities regulation law journal  
Stanford law review

### 工学部

Heat transfer engineering  
Inverse problems  
Journal of atmospheric sciences  
Medical & biological engineering & computing  
Physiological measurement  
Trends in biotechnology  
Vision research

### 附属図書館

National geographic

## ＜購入中止外国雑誌＞

平成7年度限りで購読中止する外国雑誌は、以下の通りです。

### 人文学部

American psychologist  
Folia linguistica  
Folia linguistica historica  
Historical journal  
Journal of Chinese linguistics  
Kopenhagener Beitrage zur germanistischen Linguistik  
Neuphilologische Mitteilungen  
Papiere zur Linguistik  
Semiotica  
Sprachtyrologie und Universalienforschung  
Telos  
World Englishes

### 理学部

General and comparative endocrinology  
Journal of colloid and interface science  
Journal of experimental zoology  
Journal of law temperature physics

### 教育学部

Analytical chemistry  
Canadian journal of zoology  
New zealand journal of geology and geophysics

### 経済学部

BNA's patent, trademark & copyright journal  
Engineering economist  
Industrial engineering  
Journal of business  
Journal of cost management  
Journal of manufacturing systems  
Journal of maritime law and commerce  
New York Times  
New zealand law journal  
Planning review  
Spiegel  
Supreme court reports  
Tulane law review  
Электрические станции

### 工学部

Aeronautical journal  
Chemie-Ingenieur-Technic  
Electric light and power  
I.E.E.E. transactions on communications  
I.E.E.E. transactions on computer-aided design integrated circuits and systems  
I.E.E.E. transactions on nuclear science  
I.E.E.E. transactions on systems, man and cybernetics  
International journal of neural systems  
Journal of crystal growth  
Journal of experimental biology  
Journal of vacuum science & technology A & B  
Lighting design and application  
Management science  
Neural computation  
Thin solid films

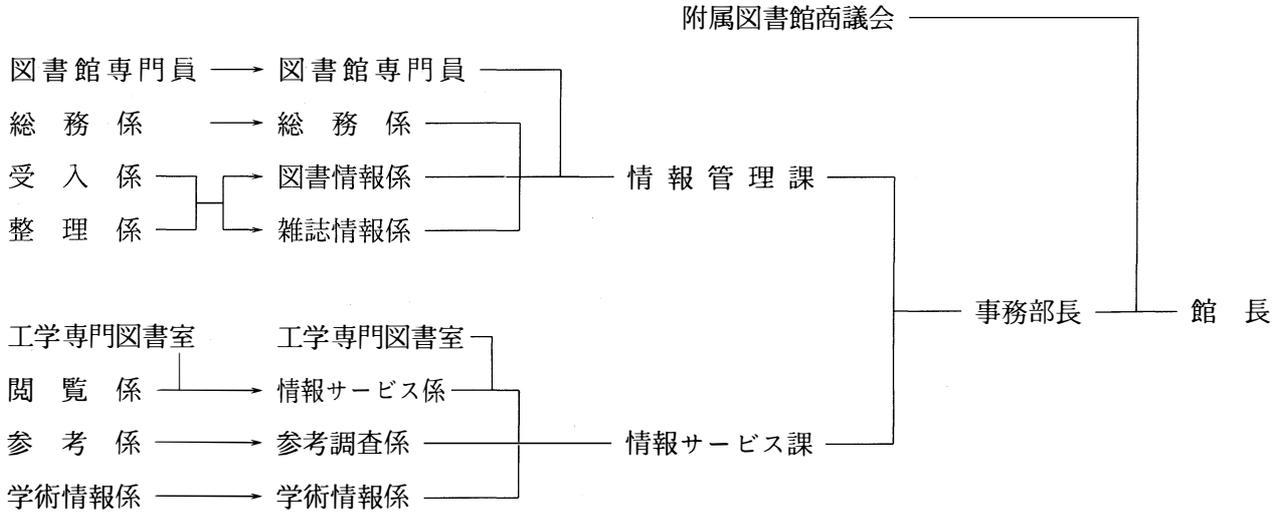
### アイソトープ

I.N.I.S. atomindex

# お知らせ

部制発足により係の名称が変わります。

現 行 新 名 称



## ══════ 図書館関係会議 ══════

(平成6年10月～平成7年3月)

- 平成6年度第5回附属図書館商議会  
期日 平成6年10月27日  
場所 附属図書館会議室
  - 北信越地区国立大学附属図書館事務部課長会議  
期日 平成6年11月1～2日  
場所 長岡技術科学大学
  - 第2回附属図書館自己点検評価委員会  
管理運営専門委員会  
期日 平成6年11月11日  
場所 附属図書館会議室
  - 第1回附属図書館増築に関する検討委員会  
期日 平成6年11月17日  
場所 附属図書館会議室
  - 第3回附属図書館自己点検評価委員会  
利用サービス専門委員会  
期日 平成6年11月28日  
場所 附属図書館会議室
- 第2回附属図書館自己点検評価委員会  
資料等整備専門委員会  
期日 平成6年12月2日  
場所 附属図書館会議室
  - 第2回附属図書館自己点検評価委員会  
情報システム専門委員会  
期日 平成6年12月12日  
場所 附属図書館会議室
  - 第2回附属図書館増築に関する検討委員会  
期日 平成6年12月22日  
場所 附属図書館会議室
  - 第3回附属図書館増築に関する検討委員会  
期日 平成7年2月2日  
場所 附属図書館会議室
  - 平成6年度第6回附属図書館商議会  
期日 平成7年2月16日  
場所 附属図書館会議室

## 目 次

### <巻頭言>

附属図書館と『告白』と私（人文学部助教授 松崎一平）…………… 1

### <諸 報>

附属図書館の早期増築を：附属図書館自己点検評価委員会報告…………… 2

新入生のみなさんへ…………… 3

電子掲示板サービスについて…………… 4

「インターネット」の利用について…………… 5

川合文書・菊池文書 データベース化へ（人文学部教授 富田正弘）…………… 6

### <シリーズ>

《CD-ROM情報検索サービスの紹介（VI）》…………… 7

《オンライン情報検索サービスの紹介（VI）》…………… 8

大型コレクションの紹介…………… 9

1995年外国雑誌の案内…………… 10

### <お知らせ>

部制発足により事務の名称が変わります…………… 11

附属図書館諸会議関係…………… 11